
桜吹雪 ～サクラと小狼～

琥珀

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

桜吹雪 ～サクラと小狼～

【Nコード】

N9542M

【作者名】

琥珀

【あらすじ】

時は桜都国。

サクラと小狼はファイに言われて一緒に散歩に。
その途中で

「小狼君。」

さくらは小狼に声をかける。

すると、小狼は

「何ですか？ 姫」

と、笑顔で返してくれる。

その笑顔を見ると、さくらは胸が暖かくなる。

何だか嬉しくて、懐かしい。

そんな風を感じるのだ。

「あのね、ファイさんが、『この頃ゆっくりしてないから、小狼君とお散歩してきなよ』」

って言うてくれたの。だから、お散歩に行かない？」

「はい。今日は天気も良いですから、きつと気持ち良いです。」

小狼がそう答えると、さくらの顔がパアッと明るくなって、花が咲いたような笑顔になった。

小狼はその笑顔を見て、すごく嬉しくなった。

「そうだね！ 行こう、小狼君！」

「はい！ さくら姫」

二人はファイ達に「お散歩に行つて来ます。」と言って、散歩に出た。

「微笑ましいねえ」

「うふふふ 二人は、ラブラブなのっ！」

「…フン」

「あれ？ もしかして黒ぽっぱ、二人が羨ましいの？」

「んなわけねえだろ！」

「モコナとラブラブするう？」
「するかっ！！」

「気持ち良い」

さくらは風を受けながらそう言った。

このそよそよと優しい風は、心地良い。

「小狼君も気持ち良い？」

「はい。すごく気持ち良いです。疲れも取れますね」

「うん。本当にそうだね！」

さくらと小狼は並んで歩く。

ポカポカして、本当に気持ち良くて…。

でも、それだけじゃない。

隣に、あなたがいるから。

隣に、君がいるから。

それだけで、心が暖かくなる。

あなたといるだけで楽しい。

あなたといるだけで暖かい。

あなたが笑うととても嬉しい。

君といると優しくなれる。

君といるだけで笑顔になれる。

君が笑うととても嬉しい。

ずっと、一緒にいたい

「姫、桜です。」

「わあっ！本当だあっ！…きれい…」

「桜…。姫と同じ名前ですね。」

「うん！…わたし、桜って、桜都国に来るまで見た事無かったけど、桜って、本当に素敵…。」

わたしも、桜みたいな素敵な人になりたいな」

「姫なら、大丈夫です。」

「ありがとう」

二人はふわりと笑う。

「桜…。この桜を、さくら姫と見れて良かったです。／＼／＼」

「／＼／＼…わたしも、小狼君と見れて良かったです！」

ザア…ッ

「桜吹雪…」

「…きれいですね」

「…うん。すごくきれい…。小狼君！」

「はい？」

「ファイさん達に、お花買って行かない？」

わたし達だけなんて、悪いもの」

「はい。そうですね！」

「行こう！」

どうか、この幸せな気持ちを、おすそわけできますように

（後書き）

サクラと小狼のほのぼので、でも想いの強い場面…
だと思ってください。

この二人は口にはしないものの、強く惹かれあっている…
みたいな（笑）

そして、仲間をととても大切にしている。

ってかんじで。

感想あつたらお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9542m/>

桜吹雪　～サクラと小狼～

2010年10月28日00時38分発行